

紋別砕石舗道が昨年6月に導入した自走式の石の選別機



紋別砕石舗道

紋別

砕石から石の販売、アスファルトの舗装まで手がける。紋別市内に所有する約13万平方メートルの採石場で、重機の掘削や発破で岩を砕き、年間5万立方メートルの石を生産する。破砕機と選別機を使い、湾岸工事を使う重さ300〜千キロもある石から、アスファルトの原料として使う砂のような石まで15種類に分類。紋別市内と近郊の工事現場までトラックで運搬する。

オホーツク okhotsk 職場探訪

硬い玄武岩 漁港工事に重宝

同社の採石場からは、硬く、良質な玄武岩が産出される。耐久性を示す圧縮強度は硬石の基準値を大きく上回り、とりわけ硬く崩れにくい石が求められる漁港の工事で重宝されている。近隣では紋別、沙留、雄武、サロマ湖の各漁港にも使われているという。大石達也社長(61)は「砕石業は地域インフラに欠かせない」とやりがい語る。

同業他社と同じく、人手不足が悩みだ。40代以下で採用できるのは年に2、3人ほど。動きやすい職場を作ろうと、社員の有給休暇の取得を積極的に進める。昨年6月には石をこれまでよりも幅広い規格に分けられる自走式の選別機を購入。これにより、これまで他社から仕入れていたアスファルトの原料用の石の購入費が削減できるため、

経費節減分を職員給与に上乗せする考えだ。

会社に親しみをもってもらうと、今年3月には若手社員が中心となり、インスタグラムのアカウントを開設。岩盤に発破をかける様子など作業風景を投稿する。大石社長は「これからも地域に貢献し、将来的には地元を離れた子が就職したくなるような会社になりたい」と語る。

(仲沢大夢)

<企業データ>

- ▽本社 紋別市新生100の12、電話0158・23・9592
- ▽設立 1994年
- ▽事業所 本社
- ▽売上高 6億500万円(2023年6月期)
- ▽従業員数 49人(パート含む)
- ▽採用情報 現場作業員2、3人募集中